vintagetechnics.ru

SANSUI

SR-929

ダイレクトドライブ プレーヤー

取扱説明書

世界の名器

Sansui

サンスイのダイレクトドライブ・プレーヤーSR-929をお買い上げいただきまして，誠にありがとうございます．
ご使用の前に取扱説明書をお読みいただき，正しい組立と接続，的確な操作により，末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます．

もくじ

ご使用の前に……1
各部の名称……2
組立と接続……3
操作……8
使用上のヒント……10
規格……13

●機能上の特長

クォーツ・サーボ方式の採用……
水晶発振器による速度制御と，モーターの回転軸が直接ターンテーブルを駆動させるため，非常に正確かつ安定した回転が得られます．また，スイッチの切換操作により，回転速度のコントロールもできます．

ナイフエッジ支持方式の採用……
トーンアーム（レコード針）がレコード溝をトレースするとき，トーンアーム軸受部に不自然な摩擦が生じません．そこでお買い求めになったときのスムースなトレース能力がいつまでも持続します．

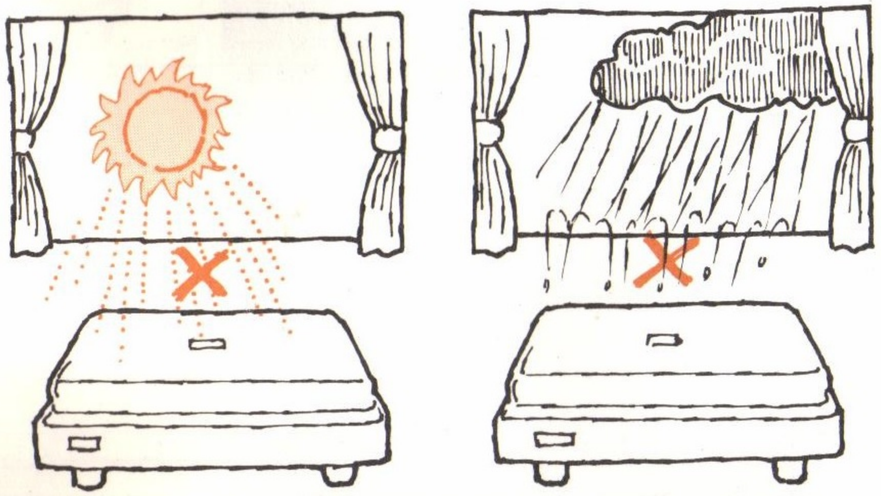
付属機構も万全……
インサイドフォース・キャンセラーやラテラルバランサーがレコード針の先にかかる不自然な方向の力をとりのぞき，安定したハイファイ再生をお約束します．

単独アームリフター・レバー……
アームリフターが独立して付いておりますので，お好みの位置でアームの上昇・下降が自由自在です．

CD-4*方式に対応した低容量コード……
出力コードは高域特性の良い低容量タイプを採用しています．CD-4用カートリッジを取り付けるだけでCD-4レコードの演奏も可能です．
* CD-4は日本ビクター株式会社の登録商標です．

ご使用の前に

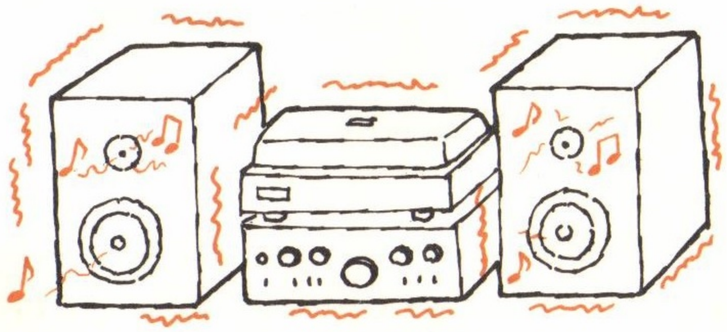
- このプレーヤーは電源電圧100 VのACコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください．電源周波数は50Hz 60Hz，どちらの地域でもご使用になれます．
- ほこりの多い所，発熱物に近い所は避けてください．
- プレーヤーをはじめアンプなどの音響製品を雨中や炎天下にさらしてご使用にならないでください．火災や感電などの事故につながる原因となり，大変危険です．



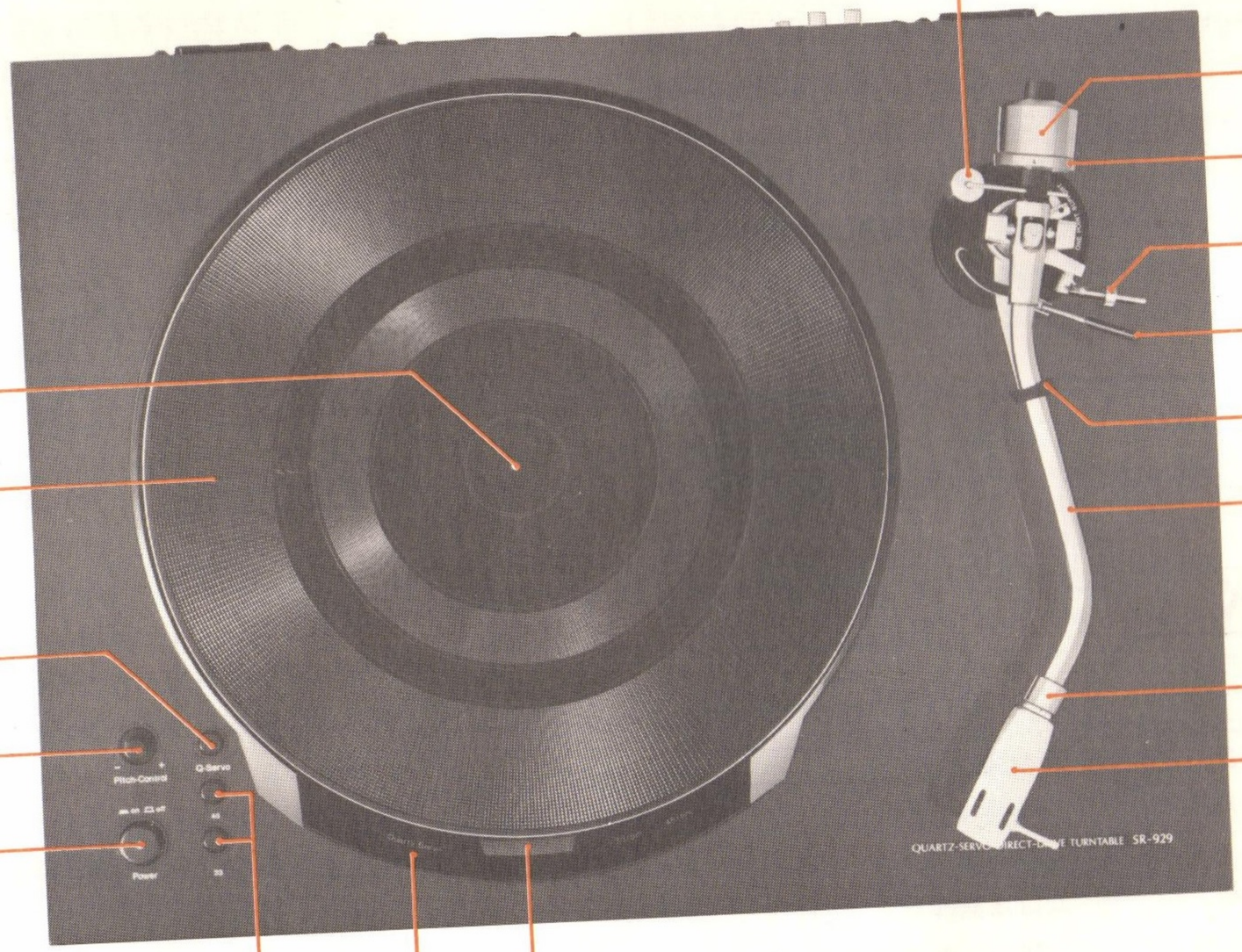
- レコード針やトーンアームには無理な力を加えないよう注意深くご使用ください．特にこのプレーヤーのトーンアーム軸受部に採用したナイフエッジ支持方式は，レコード溝にトーンアームを忠実に追従させるため，トーンアームを固定していません．したがってトーンアームはていねいに取扱ってください．

- プレーヤーを傾けてご使用になりますと，忠実なトレーシングができず特性の悪化をまねきます．設置した場所や状態に応じてプレーヤーボードが水平に保たれる様にプレーヤーの脚を回して高さ調整をしてください．

- プレーヤーはスピーカーなどからできるだけ離し，振動が伝わらないように設置してください．
  スピーカーから出た音や振動が床や空気中を通りカートリッジに伝わり増幅を繰り返してしまうハウリング現象が発生します．演奏中にブーンまたはワーンという尾をひくような異常音が生じたときはハウリング現象が発生しているときです．設置場所にご注意ください．



各部の名称



ラテラルウェイト

メインウェイト

カウンターリング

バイアスウェイト

アームリフター・レバー

アームレスト

トーンアーム

ロックナット

ヘッドシェル

ターンテーブル・シャフト

ゴムシート

クオーツサーボスイッチ

速度微調整ツマミ

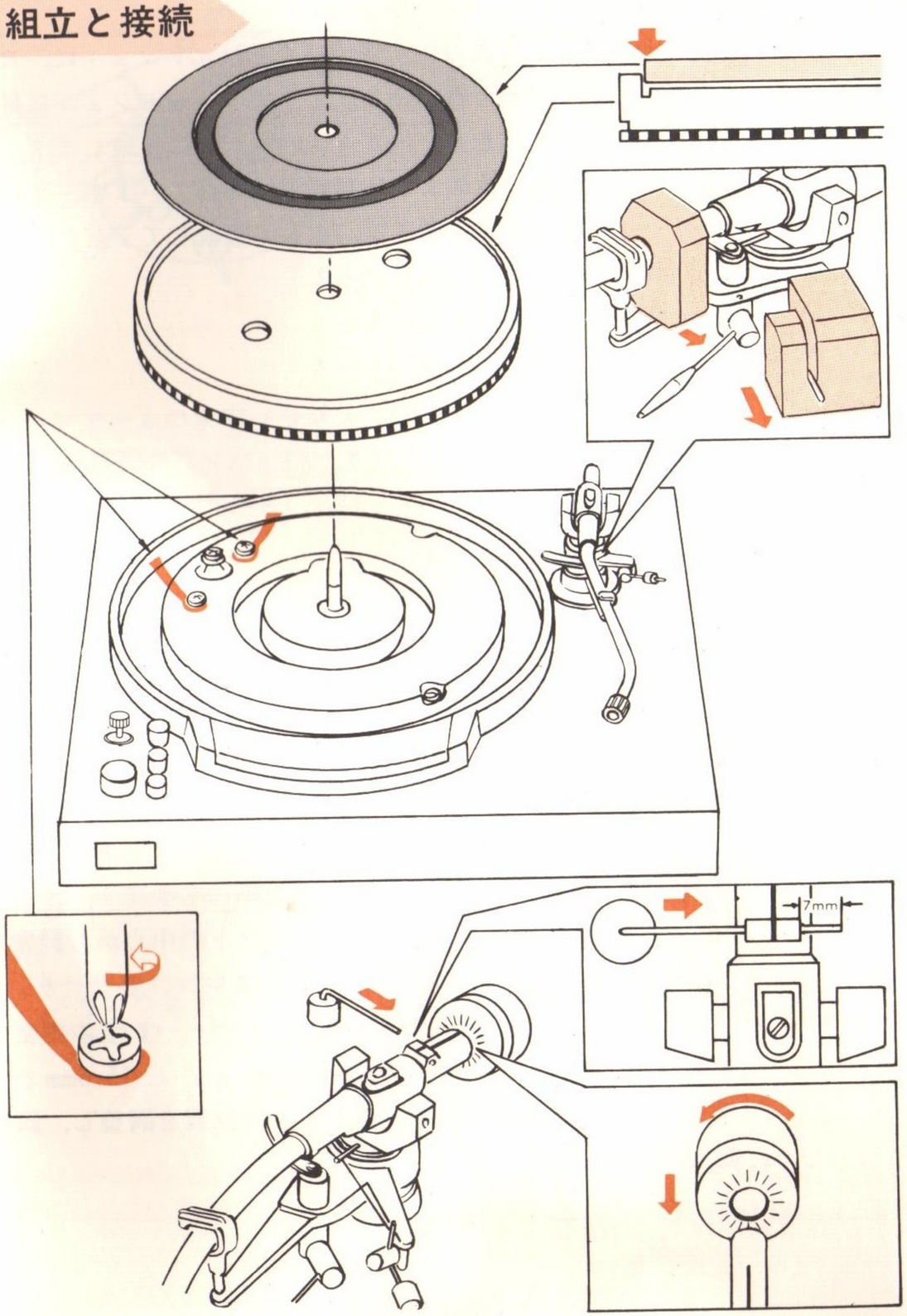
パワースイッチ

ストロボスコープ

クオーツサーボ・インジケーター

33/45回転切替スイッチ

組立と接続



このプレーヤーの精密な部分や重量のあるパーツは，輸送中の振動やその他の事故から守るため，別梱包にしています．説明順にしたがって組立や調整を行ってください．

保護パッキンの取りはずし

トーンアームに保護パッキンがついています．左図のように矢印の方向にはずしてください．

輸送ねじの取りはずし

赤い厚紙のついた2つの輸送ねじをドライバーで取りはずします．なお取りはずした2つのねじは保管してください．再度このプレーヤーを運搬する場合は，この輸送ねじを取り付けて最初に梱包されていたときと同じ状態にしてください．

ターンテーブルの組立

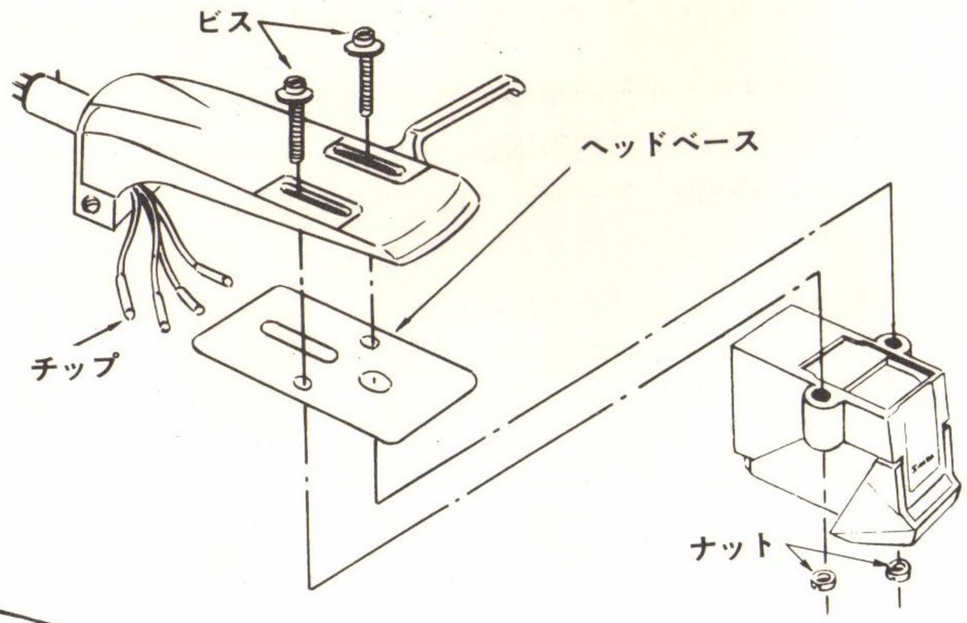
ターンテーブルをターンテーブル・シャフトに差し込みます．このとき，ターンテーブル・シャフトに無理な力が加わらないように，ゆっくりと静かに行ってください．次に，ターンテーブルの上にゴムシートをのせ軽く押し込みます．

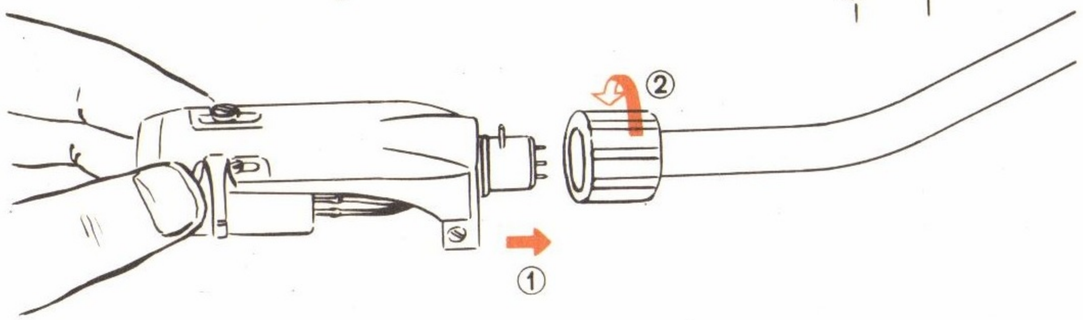
ラテラルウェイトの取り付け

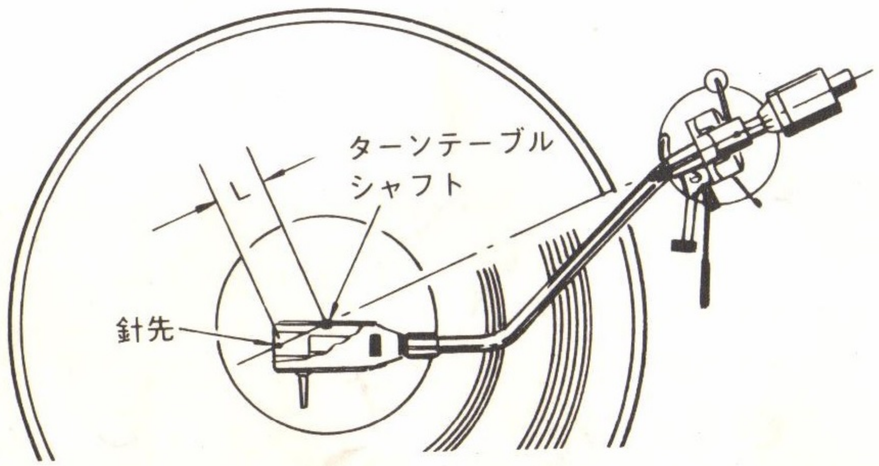
ラテラルウエイトの先端が7mm程度でるようにウエイトシャフトに差し込みます．この差し込み位置はご使用になるカートリッジの重量によって変りますから〝ラテラルバランスの調整〟にしたがって微調整をして下さい．

メインウェイトの取り付け

付属のメインウェイトをトーンアーム後部のウェイト・シャフトに差し込み，回しながら静かに入れてください．







カートリッジの取り付け

カートリッジと付属のヘッドベースをヘッドシェルに，ビスとナットでゆるく仮どめします．次にヘッドシェルに付けられたリード線をカートリッジの各ピンに接続します．リード線の色は，次のように意味づけされています．カートリッジの説明書も参照して，正しく接続してください．

青線—左チャンネル⊖アース
白線—左チャンネル⊕ホット
緑線—右チャンネル⊖アース
赤線—右チャンネル⊕ホット

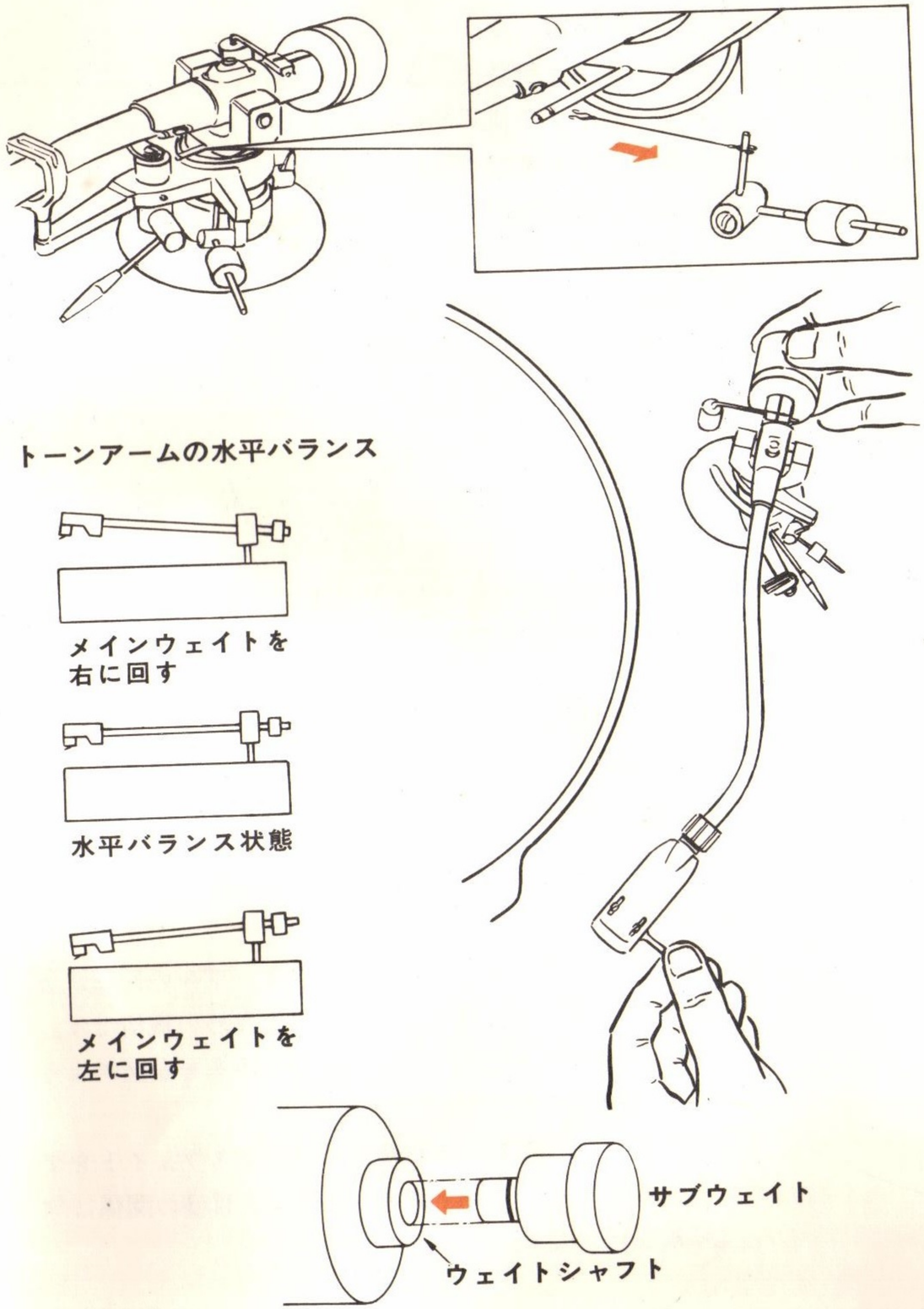
- カートリッジの取付ビスはオーバーハングの調整後，しっかりしめ直します．

ヘッドシェルの取り付け

ヘッドシェル(カートリッジ付)をトーンアームの先端にあるロックナットに差し込みます．左の図に示したように矢印①の方向に軽く押しながら，ロックナットを矢印②の方向に回転させて確実に締めつけます．

オーバーハングの調整

オーバーハングの調整は，レコード針がレコード溝の外周から内周まで正確にトレースさせるために必要です．オーバーハングとはターンテーブル・シャフトの中心から針先までの距離のことで左図に示したLの値をいいます．カートリッジの取り付け位置を変えて，オーバーハングの調整をします．このプレーヤーのオーバーハングは，15.6mmです．この値になるようにカートリッジの位置を調整し，固定してください．



インサイドフォース・キャンセラーの取りはずし

水平バランス，ラテラルバランスを調整する前にインサイドフォース・キャンセラーの糸をはずしてください．

トーンアームの水平バランス

トーンアームを水平にバランスさせて，針圧0 gの状態にします．針圧調整の前に必ず行ってください．

1．レコード針保護用のカバーをはずします．

2．アームリフター・レバーを手前に倒します．

3．左図のようにヘッドシェルのつまみを持って，アームレストとターンテーブルの中間に移動させます．このとき，レコード針がターンテーブルに触れないようご注意ください．

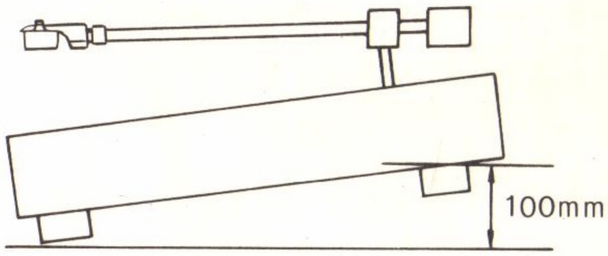
4．トーンアームから手を離しても，トーンアームが水平に静止するまでメインウェイトを回して調整します．このとき，ヘッドシェル側が下がればメインウェイトをプレーヤーの背面から見て左に回し，上がれば右に回します．
トーンアームが水平に静止した状態が，水平バランスのとれた状態です．

5．水平バランスがとれましたら一度トーンアームをアームレストに戻して，アームリフター・レバーを上げます．

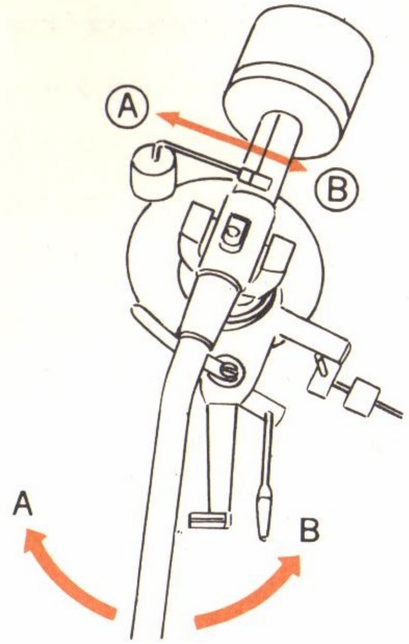
• 水平バランスを調整するときは，レコード針にショックを与えないようご注意ください．

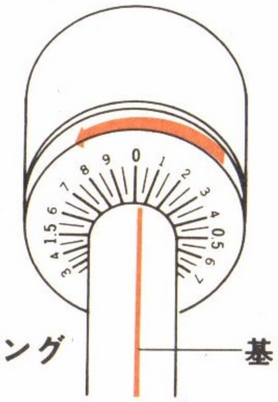
サブウェイトの使い方

カートリッジ（やヘッドシェル）が重いとトーンアームの水平バランス調整ができない場合があります．この時は，サブウェイトをウェイトシャフトに差し込んでから調整します．



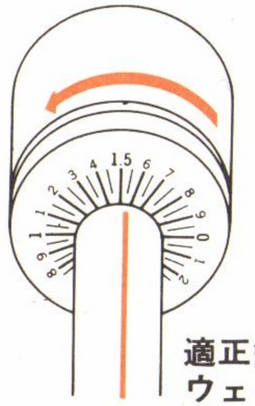
プレーヤーを傾ける



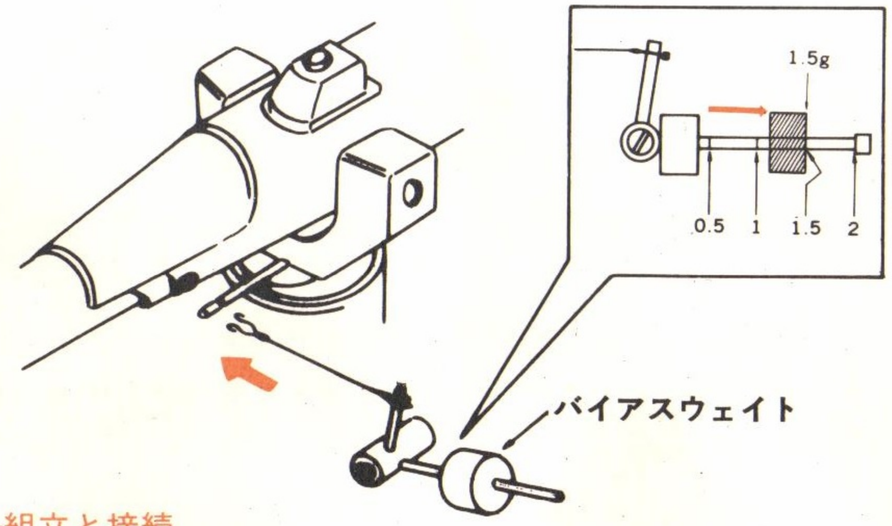


カウンターリングのみを回す

基線



適正針圧にメインウェイトを回す



ラテラルバランスの調整

水平バランスを調整後，次のように行います．

1．プレーヤーの後部を100mm位上げて，アームリフターレバーを，手前にたおしてください．

2．次にアームをアームレストとターンテーブルの中間に移動させ，手をはなします．

3．その時，アームが横に流れないようにラテラルウェイトを調整します．Aの方向に流れたとき，Ⓐの方向に引き，Bの方向に流れたとき，Ⓑの方向に押します．

針圧調整

1．水平バランスの調整後，カウンターリングを回して"0"目盛をウェイトシャフトの基線に合わせます．

2．次にカートリッジの適正針圧までメインウェイトを左に回します．この時，カウンターリングも一諸に回りますので，ウェイトシャフトの基線に合った目盛を読めば，針圧がわかります．

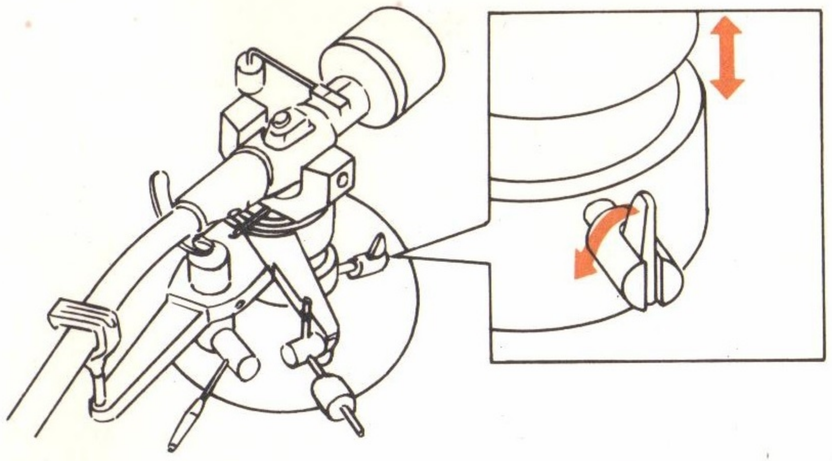
- 接続したカートリッジの取扱説明書で，適正針圧を確認してください．

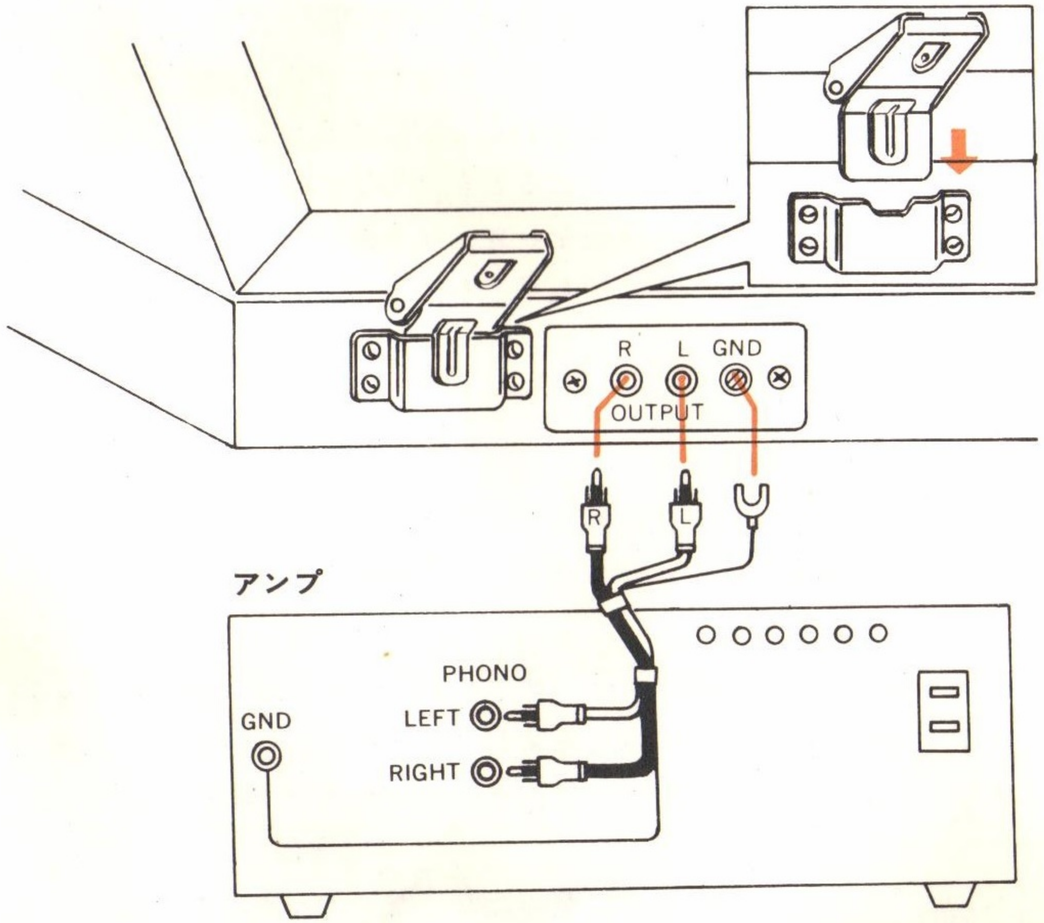
インサイドフォース・キャンセラーの調整

インサイドフォース・キャンセラーとはレコード演奏をしているときに，トーンアームがターンテーブルの回転によって中央の方向へ引かれる力を打ち消すための機構です．

1．インサイドフォース・キャンセラーの糸を左図のように取り付けます．

2．次に針圧の大きさに合わせて，バイアスウェイトをずらします．針圧とバイアスカーソルの目盛の関係は図に示す通りです．





45回転用アダプター

トーンアームの高さ調整

レコード演奏時トーンアームが水平でなければ調整してください．左図に示したネジをゆるめ，トーンアームとプレーヤーボード（やレコード）と平行になるように，トーンアームの高さ調整をします．

ダストカバーの取り付け

左図のように上から差し込んでください．

アンプとの接続

付属のピンプラグ式出力コードはCD-4レコードの演奏にも使用できる低容量タイプのシールド線です．このシールド線であなたのアンプのPHONO端子と接続します．
出力コードのピンプラグの赤白の色分けで，左右チャンネルを正しく接続してください．

プレーヤーのアース

出力コードと一緒に，アース用のビニール線が1本付けられています．このアース線でプレーヤーとアンプのGND端子を接続してください．このとき雑音がふえるようならば，はずしてください．

45回転用アダプターの保管

付属の45回転（EP盤）用アダプターを使用しないときは，大切に保管しておいてください．

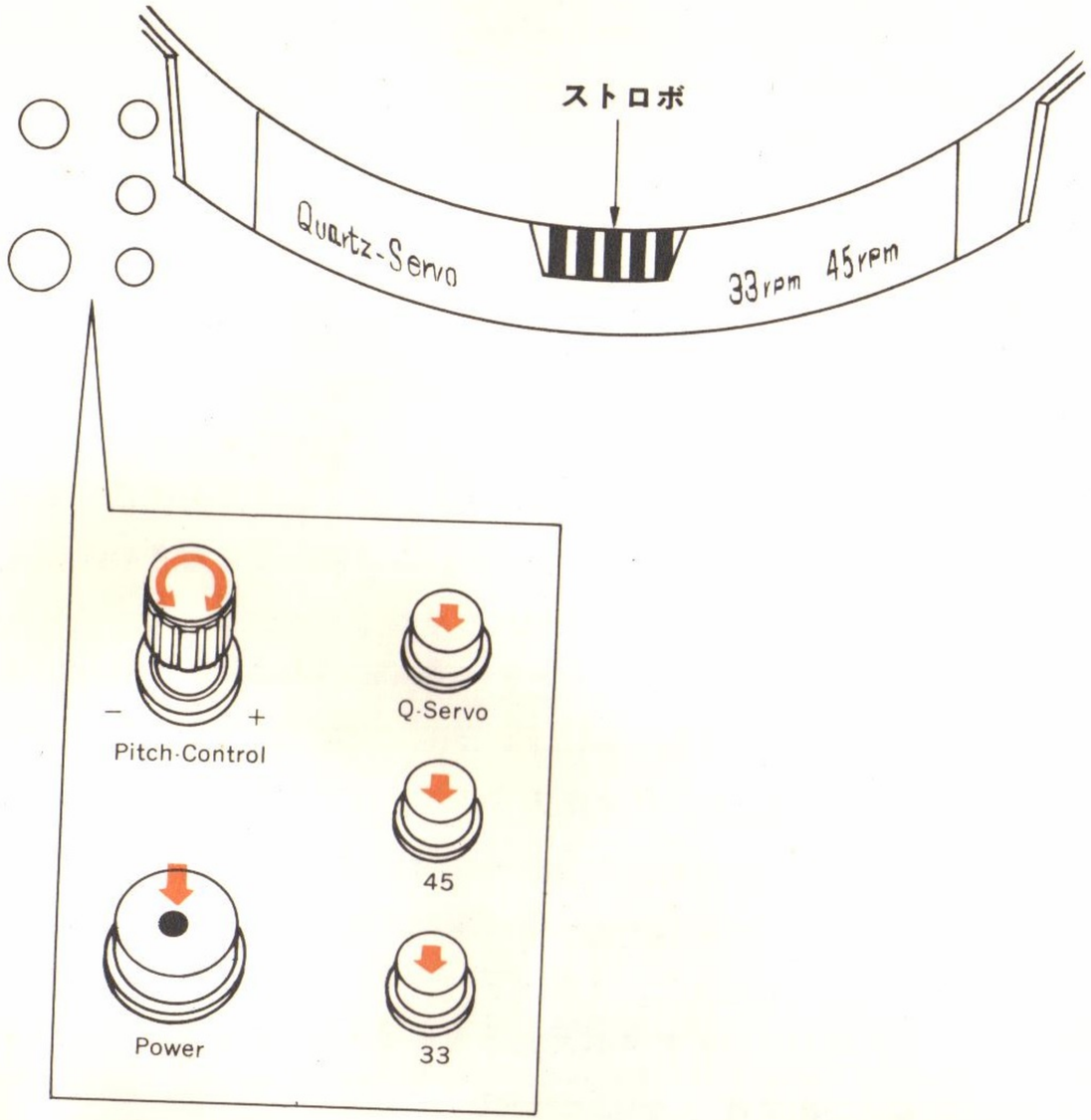
カートリッジを交換した場合は，水平バランス，針圧，ラテラルバランス，インサイドフォースの調整が必要になります．4～6ページを参照して再調整を行ってください．

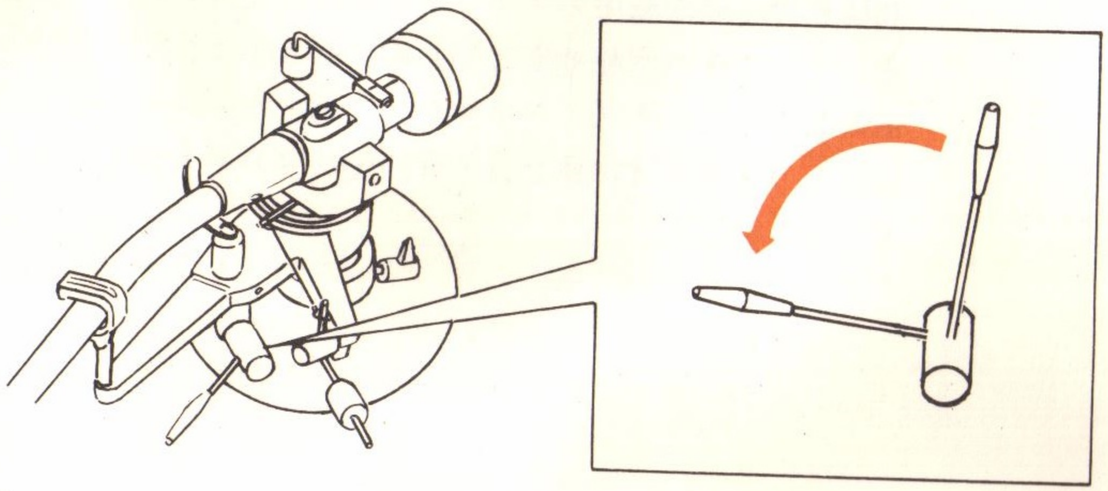
操作上の注意

- レコード演奏の前に，針圧，インサイドフォースなどの調整を確認してください．
- レコードやプレーヤーは，注意深く，ていねいに取扱うように心がけてください．手荒い扱いはプレーヤーの寿命を縮めるだけでなく，大切なレコードを傷つける原因となることもありますのでご注意ください．
- レコードをかけかえるときターンテーブルを回転させたまま行うと，大切なレコードを傷つけるなどの思わぬ結果をまねくことがありますのでご注意ください．

レコードの取扱い

- レコードの表面の音みぞは，直接手で触れないようにしてください．
- レコードの表面のほこりやゴミは雑音の原因となります．演奏前に，クリーナーを使って，きれいに拭きとってください．
- スプレー式のクリーナーや静電防止剤は，使用方法を誤まると音質の悪化をまねく原因となることもあります．ご使用になる場合は，その説明書をよくお読みになってください．
- レコードを斜めに置いたり，たくさん積み重ねたりしないように心掛けてください．
- 湿気の多い所や直射日光などを避けて保存してください．





速度微調整について

Q-Servoスイッチは通常，押した状態(Quartz-Servoインジケーターが点灯）にします．水晶発振器による速度制御が働いて，正確で安定した定格回転（33 ⅓, 45回転）を保持します．

回転速度をコントロールする場合は，Q-Servoスイッチをもう一度押して出た状態にしてPitch-Controlを回して回転速度を調整します．ストロボのシマメが左に動くほど回転速度は早くなり，右に動くほど遅くなります．

演奏のスタート

レコードをターンテーブルにのせて，パワースイッチを押します．

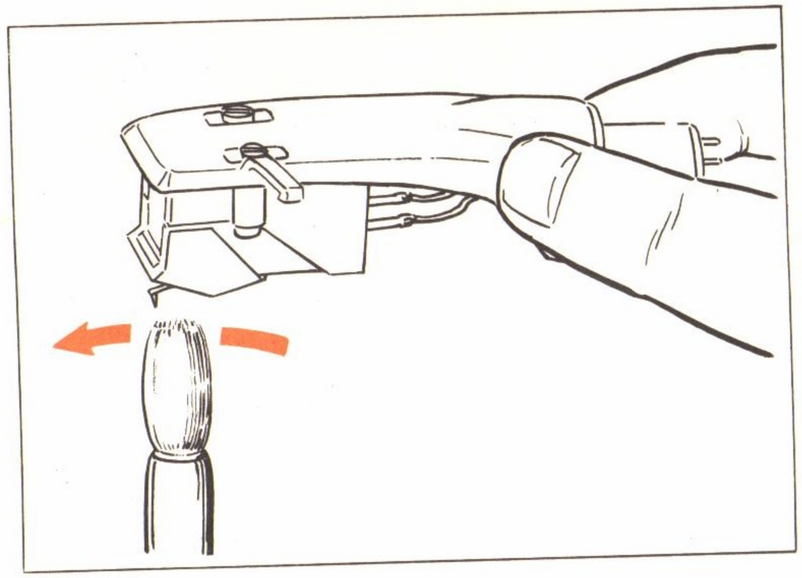
1．33/45回転切替スイッチを，レコードに表示された回転速度（33または45）に合わせて押します．
2．トーンアームをアームレストからはずし，レコードのききたい溝の真上に針がくるように移動させます．
3．アームリフター・レバーをゆっくり手前に倒します．トーンアームが静かにおりて演奏が始まります．
4．あなたのアンプを操作して適度な音量でお楽しみください．

演奏のストップ

同じレコード面上で中途をぬかして演奏を続けたいときは，アームリフター・レバーを上げトーンアームを移動させて，再びアームリフター・レバーを手前に倒します．

演奏を止めるときは，アームリフター・レバーを上げトーンアームをアームレストにもどし，パワースイッチをOFFにします．

使用上のヒント



レコードや針先はつねにきれいに

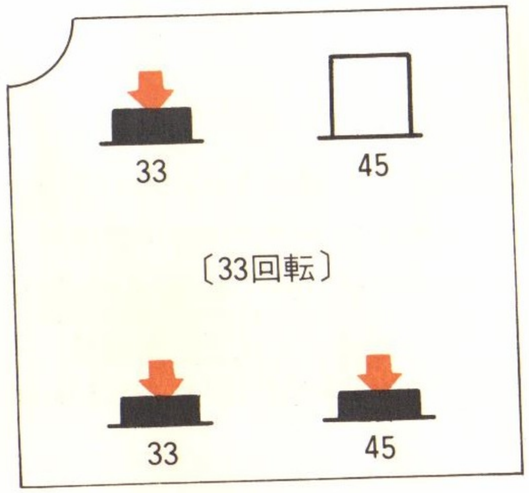
レコード演奏にとって，ほこりやごみはキンモツです．ほこりやごみがレコード針の先に付着しますと，レコードや針先をいため，音質をいちじるしく悪化させます．
レコードの汚れはレコードクリーナーで，針先のごみはやわらかいハケを使い，ていねいに除いてください．
その際，針先に指で触れたりしてショックを与えますと，針先の寿命を早めるだけでなく破損の原因にもなりますのでご注意ください．

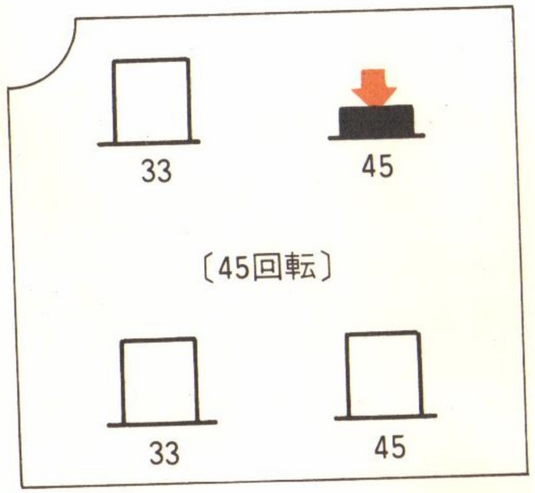
レコード針の交換はお早めに

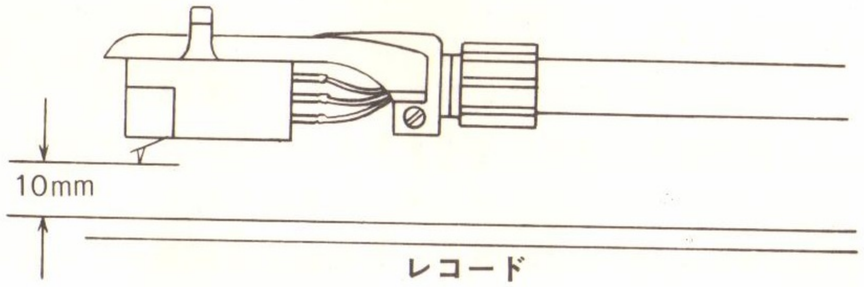
普通ダイヤ針は約500時間位使用できます．もし摩滅したレコード針でレコード演奏をすると音が歪んだり，ビリついたりします．またレコードをいためますので早めに新しいレコード針と交換してください．

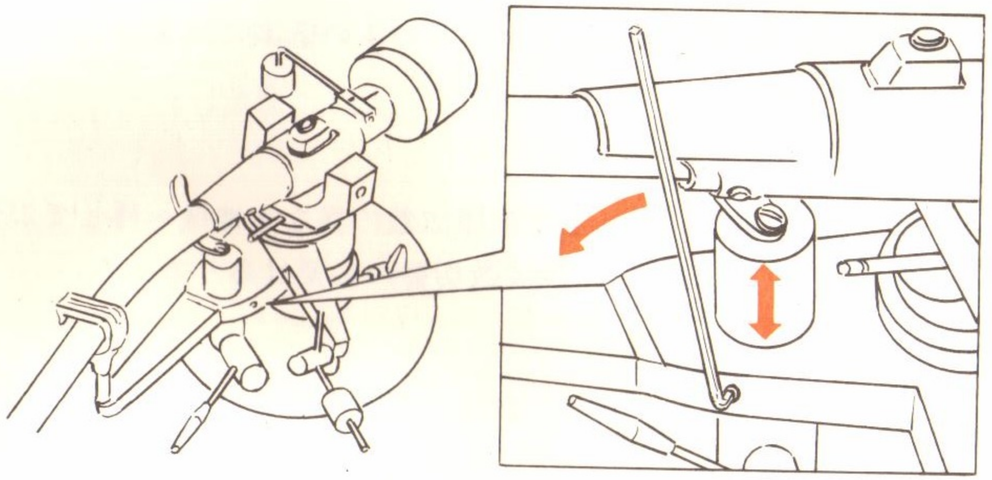
33/45回転切替スイッチについて

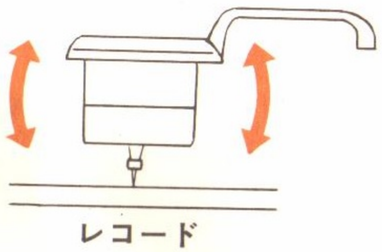
33回転用と45回転用のスイッチが同時に入った状態ではターンテーブルの回転速度は33回転になります．
その反対に両方のスイッチが出た状態になった場合は45回転になります．この時にはもう一度スイッチを押しなおしてください．

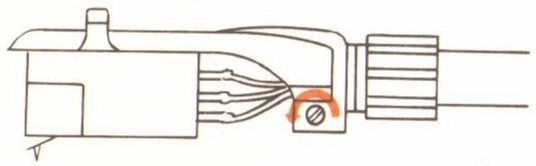












アームリフターの高さ調整

アームリフターが上がっているときの高さは，アームリフターにトーンアームをのせたとき，レコード面と針先との距離が約10mm位になるのが適当です．
もしトーンアームの位置が高すぎたりするようでしたら，アームリフターの固定ねじを六角レンチでゆるめて高さを調整してください．この調整をした後，実際にレコード演奏をしてトーンアームがアームリフターに触れていないことを確認してください．

アームリフターの降下時間

長時間ご使用にならなかったときや季節の変わり目などで，アームリフターは初回の動作に時間がかかることがあります．このときは，指先でアームリフターを軽く押し下げてからご使用ください．

ヘッドシェルの水平調整

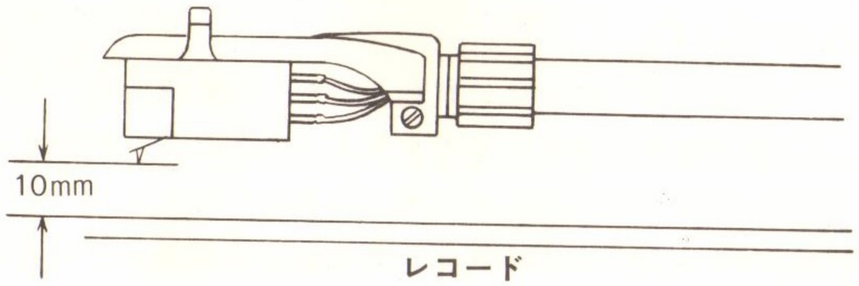
付属のヘッドシェルは左右水平度の調整ができるようになっています．水平調整が必要な場合には，ヘッドシェルにあるネジ(－)をゆるめて調整してください．

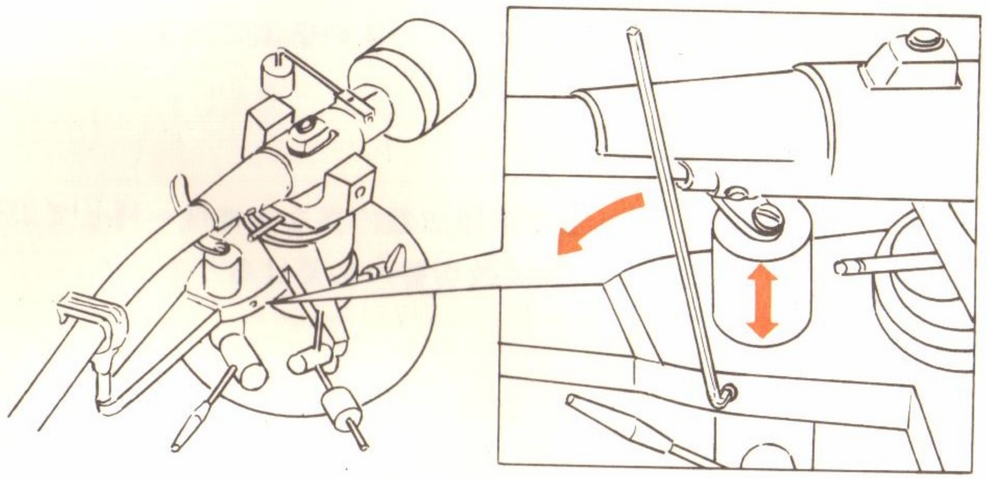
プレーヤーボードの清掃

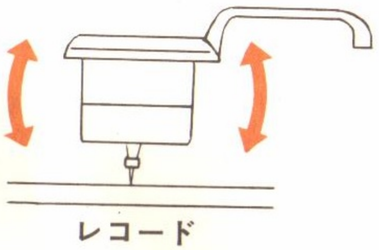
このプレーヤーはボードの表面に特殊な処理をしています．ボードを清掃するときは付属の液を表面に数滴たらして，やわらかい布で軽く拭き取ってください．

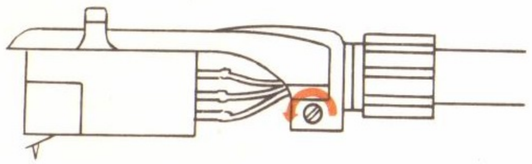
ゴムシートについて

ゴムシートの表面処理のしかたで音質が若干変ります．そのためSR-929のゴムシートは，両面に違った表面処理をし，音質の違いを楽しめる様に考慮してあります。両面をうまくご利用ください．









アームリフターの高さ調整

アームリフターが上がっているときの高さは，アームリフターにトーンアームをのせたとき，レコード面と針先との距離が約10mm位になるのが適当です．
もしトーンアームの位置が高すぎたりするようでしたら，アームリフターの固定ねじを六角レンチでゆるめて高さを調整してください．この調整をした後，実際にレコード演奏をしてトーンアームがアームリフターに触れていないことを確認してください．

アームリフターの降下時間

長時間ご使用にならなかったときや季節の変わり目などで，アームリフターは初回の動作に時間がかかることがあります．このときは，指先でアームリフターを軽く押し下げてからご使用ください．

ヘッドシェルの水平調整

付属のヘッドシェルは左右水平度の調整ができるようになっています．水平調整が必要な場合には，ヘッドシェルにあるネジ(－)をゆるめて調整してください．

プレーヤーボードの清掃

このプレーヤーはボードの表面に特殊な処理をしています．ボードを清掃するときは付属の液を表面に数滴たらして，やわらかい布で軽く拭き取ってください．

ゴムシートについて

ゴムシートの表面処理のしかたで音質が若干変ります．そのためSR-929のゴムシートは，両面に違った表面処理をし，音質の違いを楽しめる様に考慮してあります。両面をうまくご利用ください．

誘導ハムについて

プレーヤーのそばに電動ミシン，扇風機などのモーター製品や大型トランスなどを置きますと，その影響を受けてブーンというハムを生じることがあります．

プレーヤーとモーターなどの磁気を利用した機器とは，できるだけ離してください．プレーヤーとアンプとを並べて置くときも，アンプの電源トランス側と逆の位置にプレーヤーを設置することによりハムの低減に効果的な場合があります．

電源周波数について

このプレーヤーを電源周波数の異なる地域へ移してご使用になる場合でも，周波数切替の必要はありません．

注油について

このプレーヤーは，注油の必要がありません．ターンテーブル・シャフトやターンテーブルの軸受は注油しますと，かえって故障の原因となります．

プレーヤーを分解すると

ターンテーブル・シャフトを抜いたり，モーターを分解しますと性能が劣化したり故障の原因となります．プレーヤーの内部は触れないでください．

修理部品の保有期間について

音響製品の補修用性能部品の保有期間は，8年です．なお詳しくは当社の最寄りの営業所または東京サービスセンターにお問い合わせください．

規格

型式	2スピード・ダイレクトドライブ
定格回転数	33⅓, 45rpm
回転速度微調整	±3.5%
ターンテーブル	アルミ合金ダイキャスト, 直径302mm, 重量1.4kg
モーター	20極ブラシレスDCサーボ・モーター (クオーツ・サーボ)
ワウ・フラッター	0.028% W.R.M.S.
S/N	62dB以上
トーンアーム	スタティックバランス, S字型
アーム実効長	240mm
オーバーハング	15.6mm
適合カートリッジ重量	2～11g(11～21gサブウェイト使用時)
電源	100V 50/60Hz
消費電力	7W(定格)
寸法	幅490mm×高さ173mm× 奥行381mm
重量	17.1kg

※改良のため,予告なく意匠,仕様の一部を変更することがあります.

Sansui 山水電気株式会社
本社　東京都杉並区和泉2-14-1(〒168)

(N6M2) 〈9209710〉